

桑折町総合計画

概要版

献上桃の郷 こおり



未来躍動プラン

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT **GOALS**

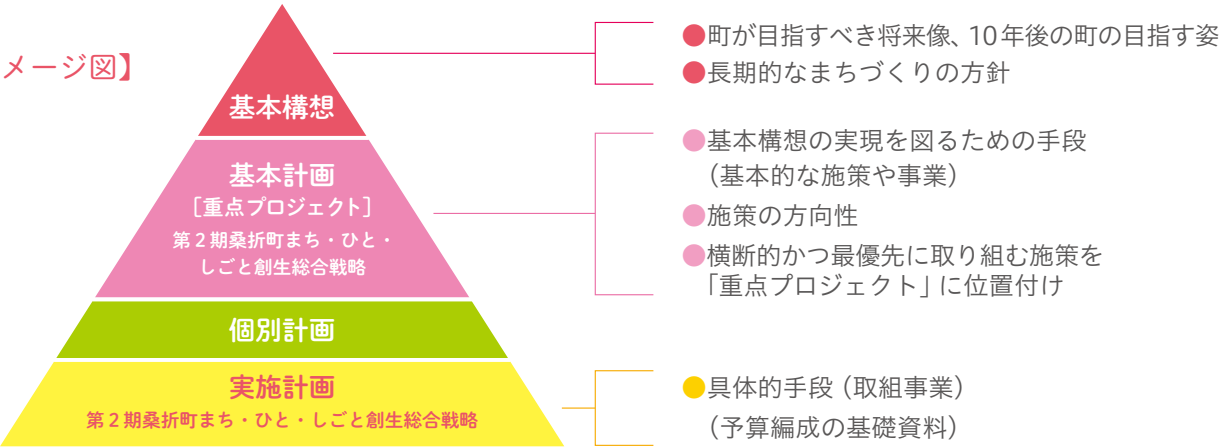
2022-2031

福島県桑折町

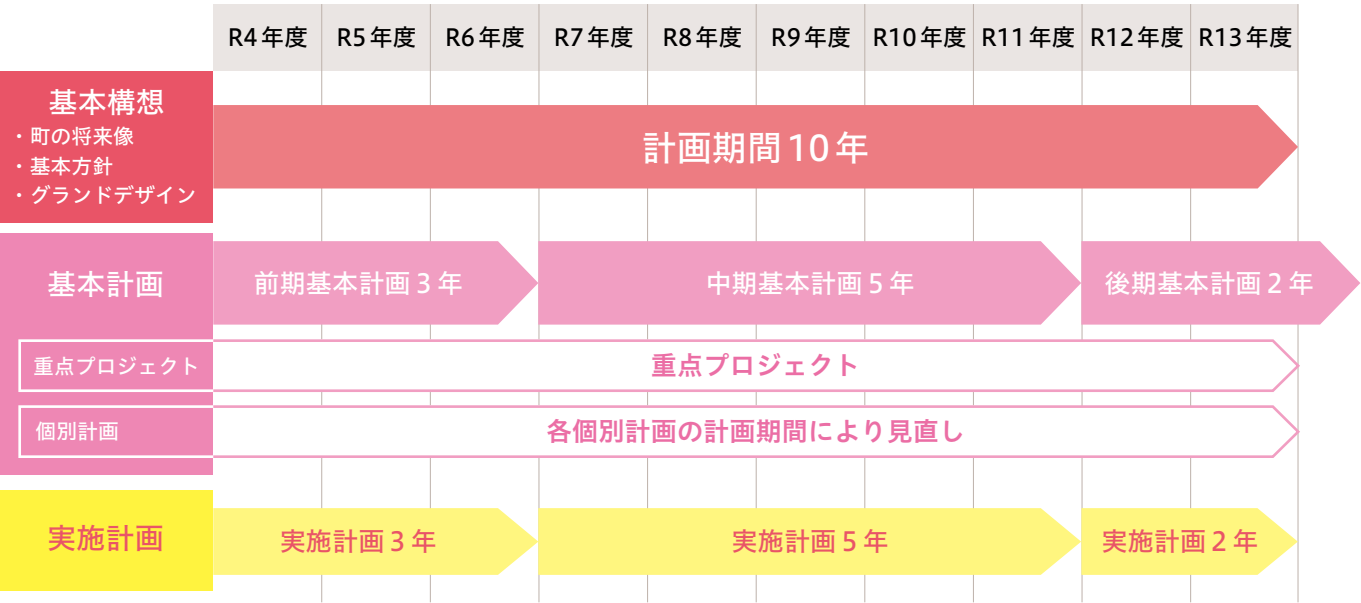
総合計画とは

- 本町の目指すべき将来像を描き、それを実現していくための総合的かつ計画的なまちづくりの指針となる最上位計画です。
- 「町の将来像」を示す基本構想の実現に向け、行政分野ごとに「10年後の町が目指す姿」や、まちづくりの基本目標、基本目標の実現に向けた施策及び基本的取組事業などを「重点プロジェクト」「施策分野別基本計画」として掲げています。
- 本町のまちづくりに対する基本的な構想や施策の方向性を、町民をはじめ、町外に発信する役割を担います。
- 地域経済の発展や活力ある地域社会の形成、人口減少の克服を目指すために自治体が作成する「総合戦略」と統合・一体化し、効率的で効果的な計画の推進や進行管理の徹底、町民に向けた分かりやすい説明につなげています。

【計画のイメージ図】



- まちづくりの基本的な構想を示す「基本構想」については、中長期的（10年程度）な展望に立ちながら、令和4年度を初年度とし、令和13年度を目標年次とする10年間の計画とします。
- 施策や基本的な事業を示す「基本計画」については、社会情勢や町民ニーズの変化、町施策の進展に対応するとともに、「第2期桑折町まち・ひと・しごと創生総合戦略」も含む計画であることから、令和7年度以後の国・県総合戦略との整合や連動、社会情勢の変化に対応できるよう、前期期間を令和4年度から令和6年度までの3年間と定めています。



※基本計画は第2期桑折町まち・ひと・しごと創生総合戦略を包含

桑折町長 高橋宣博



「みんなが幸せを実感できる
元気なまちこおり」を目指して

本町では、平成28年12月に総合計画「献上桃の郷こおり創生プラン」を策定し、町の未来像である「みんなとつながりみんなが活躍できる安心のまち桑折」の実現に向け、鋭意、各種事業に取り組んでまいりました。その結果、基幹事業と位置付けた4つの重点プロジェクトを中心に、各事業が順調に進捗したものの、令和2年からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、コロナ禍がもたらす、新たな社会情勢の変化を見据えた骨太の計画策定が必要となったことから、新総合計画策定期を、令和3年9月に見直しました。

新しく迎えた「令和」の時代は、国の復興・創生期間の終了（2020年）を踏まえ、東日本大震災や原発事故災害からの復興関連事業を整理していく中で、人口減少・超少子高齢社会の到来、自然災害の脅威やICTの飛躍的発展など、多くの課題への対応が求められます。加えて、全世界で猛威を振るうこととなった新型コロナウイルス感染症の拡大により、我が国の住民生活や医療、福祉、教育、産業、経済などさまざまな分野において深刻な問題や課題が顕

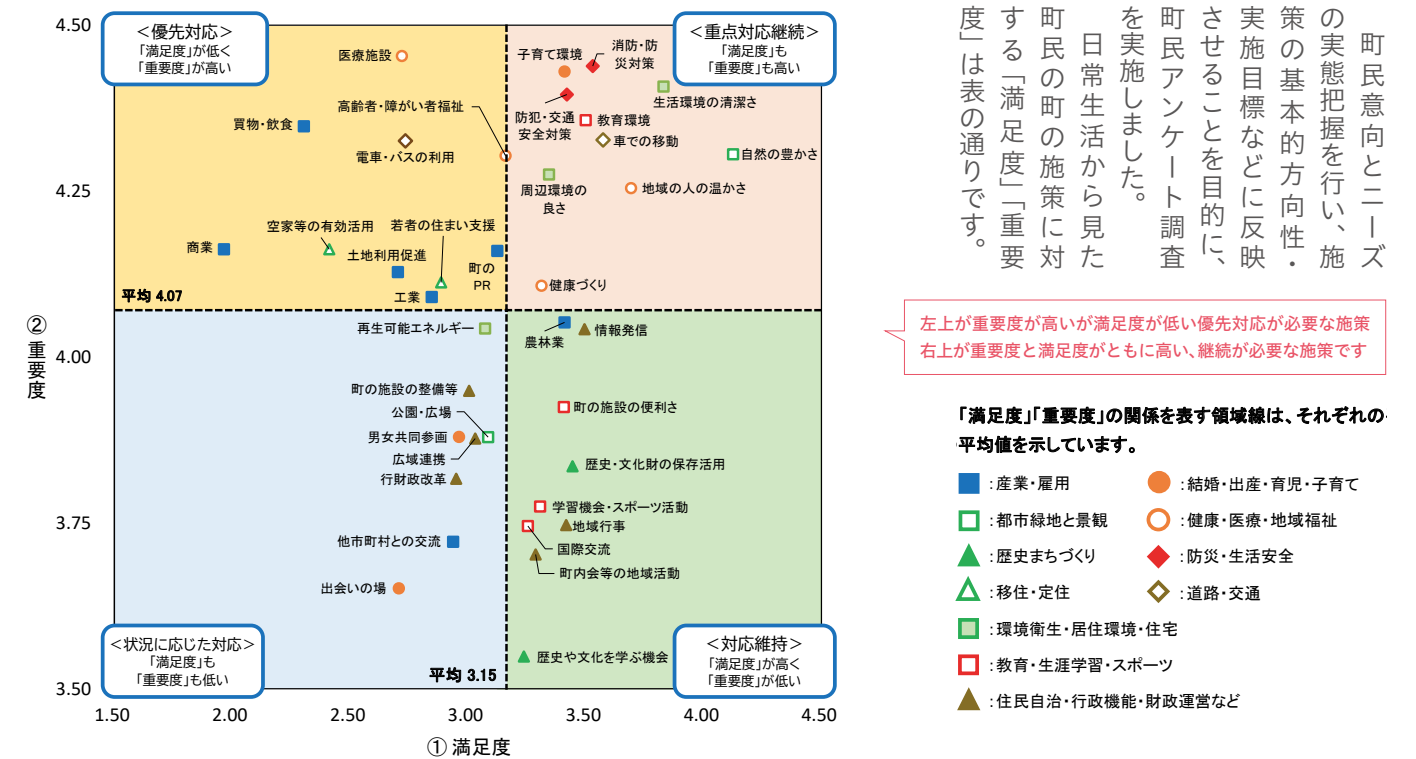
在化しており、今後も本町を取り巻く環境は、国内や国際情勢などを背景に、大きく変化していくものと予想されます。

待望の役場新庁舎の完成や相馬福島道路の全線開通など、本町のインフラが充実し、「こおり新時代」の到来を実感できるようになった今、まちづくりは、その先の豊かな未来への展望が描ける大きな転換期に達しています。本総合計画では、このチャンスをしつかりと捉え、前計画での取り組み成果を十分に生かしながら、地方創生SDGs（持続可能な開発目標）、デジタル化や脱炭素社会の視点など、確かな未来につながる長期的なテーマについても取組みを推進します。また、コロナ禍など、社会情勢の変化や課題などに着実に対応していけるよう、今後10年間のまちづくりについて、本町が目指すべき姿と進むべき方向性を明らかにし、行政分野ごとに主要施策を体系化するとともに、横断的かつ優先的に取り組む施策を「重点プロジェクト」として掲げ、その先の輝かしい未来に向かって（For the Bright Future）計画の実現を図っていきます。

町を取り巻く情勢



町民アンケートから見た町の施策の「満足度」「重要度」



SDGs（持続可能な開発目標）の推進 ～総合計画の着実な推進から国際目標の達成に～



本町でも、人口減少・超少子高齢社会など地域の課題の解決と持続的なまちづくりの実践に向け、さまざまな団体とのパートナーシップによりSDGsの取組みを推進するため、金融機関や民間事業所と「包括連携協定」を締結するとともに、令和3年6月に「地方創生SDGs推進の町」を宣言しました。

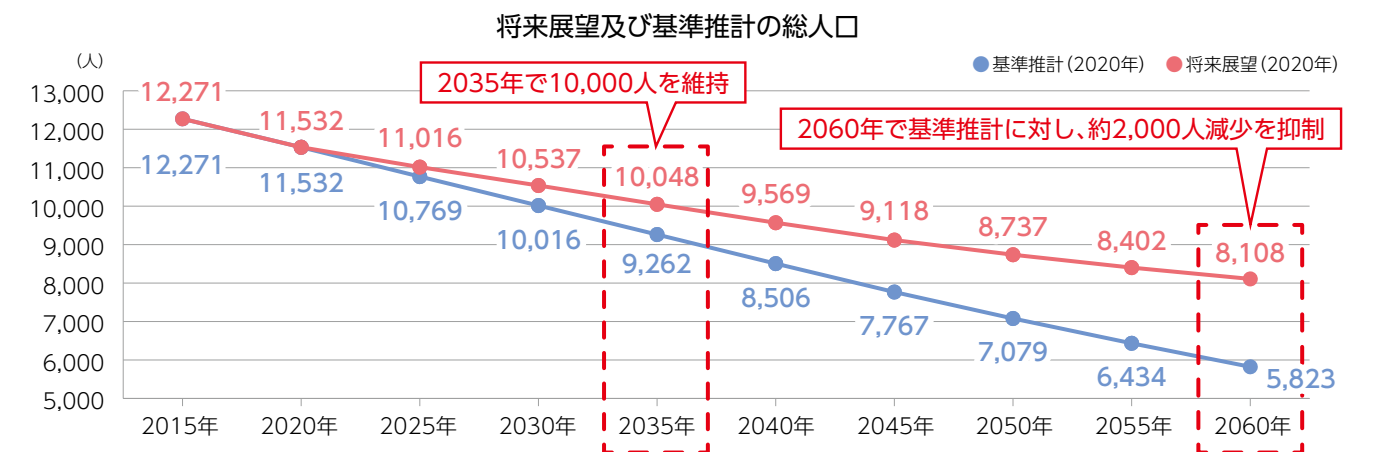
「町が目指す将来像」の実現や持続可能なまちづくりに向けた各種施策は、SDGsの理念や目標達成に通じるものであります。また、SDGsの推進が総合計画の着実な推進につながるという表裏一体の関係性があるため、世界基準に照らした視点を意識し、町の施策とSDGsの17のゴール（目標）との関連性を明確に示し、SDGsを原動力とした地方創生を推進していきます。

●「誰一人として取り残さない、持続可能な多様性と包摂性のある社会の実現」を目指し、経済、社会、環境をめぐる広範な課題に総合的に取り組むものです。

●SDGs（持続可能な開発目標）

●貧困や人種差別、環境破壊など地球規模のさまざまな問題を解決するために、国際連合によって定められた2030年までの世界全体の達成目標で、17のゴール（目標）と169のターゲットから構成されています。

人口の将来展望（人口目標）



①自然動態 2030年（令和12年）に町民の希望出生率「2.07」

2019年（令和元年）に実施した町民アンケート調査の結果から算出された希望出生率の達成を目指す。

②社会動態 2030年（令和12年）に若年層の「社会増減 ±0（ゼロ）人」

2021年以降は、移住・定住施策や伊達桑折インターチェンジ周辺及び福島蚕糸跡地の再開発などの地域活性化施策の効果により、2030年までに若年層の社会増減を段階的に±0人にする。

本町が目指す将来像に係る自然減少・社会減少対策を講じ、将来展望として

2035年（令和17年）に人口10,000人維持を目指します。

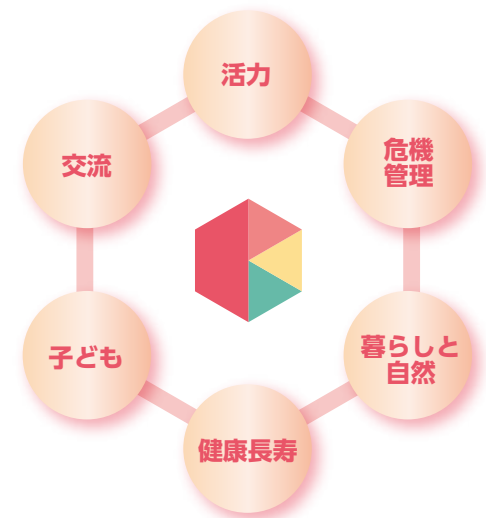
【人口の将来展望（人口目標）】

自然動態及び社会動態の両面から人口減少が進み、このままの状態では推定すると、2060年には、人口が6,000人を下回るまで減少すると推測されます。平成27年国勢調査の結果や令和元年に実施した町民アンケート結果などを反映した「将来展望（2020）」を算出し、人口目標を左記の通り設定しました。

町の将来像（10年後に目指すべき町の姿）

「みんなが幸せを実感できる 元気なまち こおり」

温かみのある町民みんなが、自然や歴史、文化、産業、教育など、本町の特色ある恵まれた地域資源を最大限に生かしながら、元気や活力があふれる「輝かしい」未来に向かって魅力的なまちづくりを推進する姿を、「町の将来像」として次のように掲げます。



図の「桑折町ロゴマーク」は、町の宝である自然、歴史、文化などを「桑折ブランド」として確立するために作成しました。

町民の温かさや桃、半田山などをイメージした色や、人と人、過去・未来とのつながりをイメージし、雪の結晶の形でもある六角形でデザインされています。

六角形は、バランス・調和の象徴で、亀甲模様など、古来より長寿吉兆の象徴として縁起の良い形とされており、「6恵6幸」には、町民みんなの調和・安定や幸せ、過去と未来や人とのつながりという願いも込められています。

この計画は、6つの方針に基づき各種施策を展開し、将来像の実現を目指す計画であるため、サブタイトルとして「**6恵(K) 6幸(K) こおり 未来プラン**」と掲げています。

将来像実現のための6つの方針

1 活力と賑わいに満ちたまちづくり

●「献上桃の郷」の産地継承に向けた新規就農者後継者の育成支援、農業振興活動拠点施設「レガレこおり」の活用、有害鳥獣対策等に取り組み、町農産物のブランド化などにより農家所得の向上を図ります。

●伊達桑折インターチェンジ周辺の交通環境の充実をPRし、企業誘致による新たな雇用創出、商工会などと連携した魅力的な商業環境づくり、サテライトオフィスの整備などを行い、地域経済の活性化を図ります。

●地域の特性や自然環境との調和を図るとともに、駅前公有地（福島蚕糸跡地）への商業施設を核とした複合施設の誘致など、利便性・快適性が高い機能が集約した都市的土地利用の推進に取り組みます。



2 危機管理に備えた安全・安心のまちづくり

●役場庁舎を拠点とした危機管理に備える体制の充実をはじめ、災害時に最前線に立つ消防団員の活動環境の整備、湛水防除対策の強化など自然災害に備える体制強化、コロナ禍の経験を踏まえた防疫対策の強化に万全を期します。

●自助・公助・共助の考えのもと、町内会や住民自治協議会などの連携を図り、消防・防災の強化や生活安全対策の推進に取り組みます。



3 暮らしと自然が調和した豊かさを実感できるまちづくり

●誇り・宝である恵まれた自然を守り、次世代へ引き継いでいけるよう、森林環境を保全しながら、みんなが便利で快適に暮らせる豊かなまちをつくるため、都市緑化や歴史的な景観形成などに取り組みます。

●道路交通ネットワークの整備や住生活環境・環境衛生の充実に取り組みます。

●地球環境保護のため、脱炭素社会実現を推進するとともに、再生可能エネルギーの導入推進を図ります。



4 健康長寿で元気なまちづくり

●みんなが心身ともに健康で生き生きと暮らせるよう、健康づくりと医療の推進を図るとともに、生涯スポーツ事業と連携した体力向上と健康増進に取り組みます。

●誰もが安心して生きがいをもって暮らせるよう、地域福祉と障がい者福祉、高齢者福祉の推進とともに、生涯学習事業と連携し、社会参加の促進を図っていきます。



5 子どもを大切にするまちづくり

●「子育てするなら桑折町」と町内外から評価されるよう、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援に取り組み「桑折版ネウボウ」を推進し、子育て支援の充実を図ります。

●待機児童ゼロの堅持や幼児教育の質の向上、学力向上対策の推進やGIGAスクール構想などにより、乳幼児保育・教育や学校教育のさらなる充実を図るとともに、みんなが子育て・教育に携わり、人間としての基本を身につけ、目標に向かって高い志をもち、強みを発揮してたくましく未来を切り拓いていく「桑折っ子」を育成します。



6 交流で絆を育むまちづくり

●みんなが互いに協力しながら、シティプロモーションを戦略的に推進し、町民の地域への愛着と誇り（桑折プライド）の醸成を図るとともに、町の魅力や元気を積極的に発信し、町の知名度向上に取り組みます。

●コロナ禍を契機に急速に普及したリモートワークやオンラインなどによる交流、密を避けられる地方への関心の高まりを踏まえた観光交流や歴史まちづくりの推進に取り組み、交流の輪を広げ、本町への新たな人の流れを創出していきます。



「献上桃の郷こおり 未来躍動 プラン」(令和4年度～13年度)

町の将来像 「みんなが幸せを実感できる 元気なまち こおり」～「住み続けたいまち 住みたいまち こおり」の実現～

6 恵 6 幸こおり 未来プラン

重点プロジェクト

- 1 「21世紀の追分」推進プロジェクト
- 2 「安全・安心のまち」推進プロジェクト
- 3 「環境に優しいまち」推進プロジェクト
- 4 「健康で生き生きと暮らせるまち」推進プロジェクト
- 5 「桑折っ子」育成推進プロジェクト
- 6 「心地いいまち」推進プロジェクト

方針 1

活力と賑わいに満ちた まちづくり

「桑折ならではの」魅力と特色を生かした
活力と賑わいに満ちたまちを創ります。

総合戦略の視点 【仕事】

主な行政分野

- 1 農業の振興
- 2 商工業の振興
- 3 土地利用の推進

施策

- 1 農業後継者の育成強化と新規就農者の確保・支援
- 2 農業所得の向上と農業経営の活性化
- 3 農地の効率的な活用促進
- 4 有害鳥獣対策の強化
- 5 農村環境の整備充実
- 1 新たなサービス導入による商業活性化
- 2 新たな雇用創出につながる産業振興と企業誘致
- 3 中小企業経営への支援
- 4 新しい働き方への取り組み
- 5 都市的土地利用の推進
- 1 新たな土地利用の推進
- 2 都市的土地利用の推進

方針 2

危機 安全・安 管理に備えた 心のまちづくり

みんなが安全・安心に暮らせるまちをとも
に創ります。

総合戦略の視点 【暮らし】

主な行政分野

- 1 消防・防災の強化
- 2 生活安全対策の推進

施策

- 1 危機管理体制の強化
- 2 消防・救急救助体制の充実
- 3 地域防災力の強化
- 4 役場庁舎を核とした災害対策の充実
- 5 災害に備える防災基盤の整備
- 6 国土強靱化計画の推進
- 1 消費者行政対策の推進
- 2 防犯活動の推進
- 3 交通安全運動の推進

方針 3

暮らしと自然が調和した 豊かさを実感できるまちづくり

町の誇り・宝である恵まれた豊かな自然を守り次世代に引き継ぎながら、みんなが
便利で快適に暮らせる豊かなまちを創ります。

総合戦略の視点 【暮らし】

主な行政分野

- 1 都市緑化・景観づくりの推進
- 2 道路・交通ネットワークの整備
- 3 居住環境の充実
- 4 環境共生の推進
- 5 森林環境の保全
- 6 環境衛生の充実

施策

- 1 魅力ある景観づくりの推進
- 2 公園や広場の利便性向上
- 3 緑化の推進
- 1 広域交通網の計画的な形成
- 2 地域公共交通の充実
- 3 町道等整備と適正な維持管理
- 1 水道事業の健全経営
- 2 河川や水環境の保全
- 3 公共下水道の整備と適正な維持管理
- 4 安全で安心な水の安定供給
- 5 上下水道と民営簡易水道の統合に向けた取り組み
- 6 水道事業の健全経営
- 7 河川や水環境の保全
- 8 公共下水道の整備と適正な維持管理
- 9 合併処理浄化槽の設置推進
- 1 空家等対策
- 2 耐震化の推進
- 3 町営住宅の適切な管理
- 1 再生可能エネルギーの導入推進
- 2 かわまちづくり事業の推進
- 3 脱炭素社会実現への取り組み推進
- 1 森林環境の保全
- 2 公衆衛生の向上
- 3 廃棄物の適正な処理と資源循環型社会の形成
- 1 公害対策の推進
- 2 公衆衛生の向上
- 3 廃棄物の適正な処理と資源循環型社会の形成

桑折町まち・ひと・しごと創生総合戦略の視点

【仕事】産業を活性化し、新たな雇用を創出 【暮らし】生活の利便性を実感できる安全・安心なまちづくり

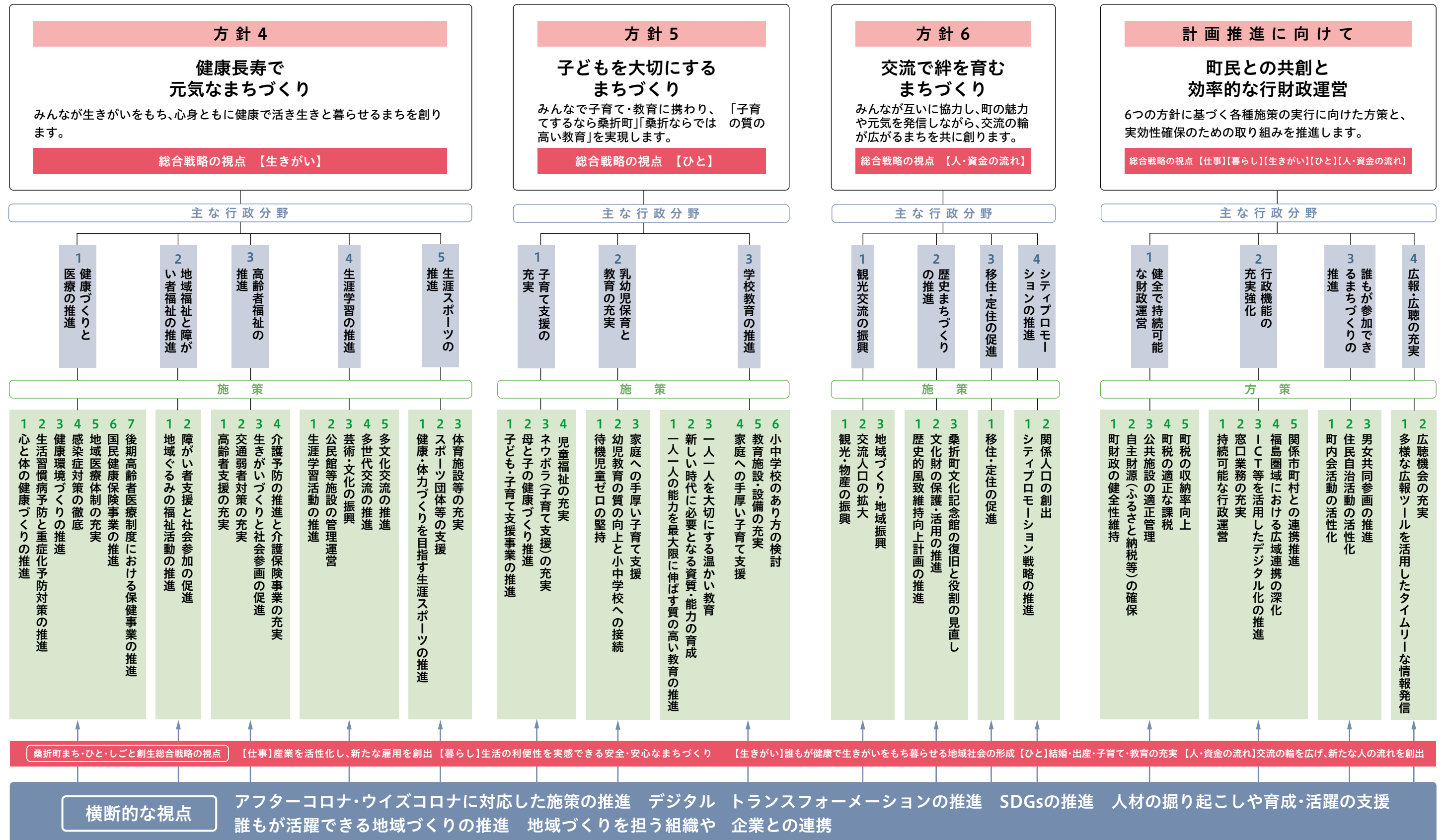
【生きがい】誰もが健康で生きがいを持ち暮らせる地域社会の形成 【ひと】結婚・出産・子育て・教育の充実 【人・資金の流れ】交流の輪を広げ、新たな人の流れを創出

横断的な視点

アフターコロナ・ウィズコロナに対応した施策の推進 デジタル 誰もが活躍できる地域づくりの推進 地域づくりを担う組織や 企業との連携

「献上桃の郷こおり 未来躍動 プラン」(令和4年度～13年度)

町の将来像 「みんなが幸せを実感できる 元気なまち こおり」～「住みたいまち 住み続けたいまち こおり」の実現～



「重点プロジェクト」については、町の将来像を見据えながら、「新しいまちづくり（新規性）」「桑折ならではの」といった個性あるまちづくりを創出するため、分野横断的に取り組む主要な施策を抽出し、総合計画全体を牽引し、長期的に取り組んでいきます。

6つの重点プロジェクト

「21世紀の追分」 推進プロジェクト

桑折ジャンクションを現代版「追分」とし、地理的ポテンシャルを生かし、民間開発事業者との連携や企業誘致による土地利用の推進を図り、町内GDP額の増加や雇用の創出、町民所得の向上につなげます。また、「献上桃の郷」の産地維持と元気な農業を推進し、農家所得の向上につなげることで、産業が盛んな「持続可能で元気なまちづくり」を目指します。

- 伊達桑折インターチェンジ周辺土地利用推進事業（流通・製造業施設、商業施設、住宅地など）
- 伊達桑折インターチェンジ周辺の土地利用促進による企業誘致推進
- 福島蚕糸跡地活用事業
- 「献上桃の郷」産地維持・継承事業
- 桑折町農業振興地域整備計画の見直し
- にぎわい創出拠点づくり事業
- サテライトオフィス※等施設整備事業



さまざまな業種から注目が集まっている
伊達桑折IC周辺と桑折工業団地

「安全・安心のまち」 推進プロジェクト

これまでの災害を教訓に、あらゆる災害に迅速かつ的確に対応し、町民の生命や財産を最優先に守るとともに、企業の経済・社会活動が停滞することのないよう、さまざまな視点から各種取組みをさらに推進し、町民に安らぎのある生活環境づくりを目指します。

- 防災協定締結事業
- 生活雨水排水路などの改修・維持修繕の継続
- 備蓄品整備事業
- 防災教育の実施
- 「桑折町国土強靱化地域計画」の見直しおよび推進



町民の安全安心の要であり
防災・減災の拠点となる役場庁舎

「環境に優しいまち」 推進プロジェクト

半田山自然公園や産ケ沢川のホテルなど、先人が大切に守りつないできた恵まれた自然を確実に次世代へ継承していくため、二酸化炭素排出量の削減や森林保全による吸収効果力の強化、再生可能エネルギー導入推進など、さまざまな視点から環境保全活動に取り組む「環境に優しいまちづくり」を目指します。

- 半田山自然公園の運営管理のあり方検討
- 地球温暖化対策事業、住宅用再生可能エネルギー設備などの設置支援
- 公用車の電気自動車化推進
- 河川水質保全対策事業
- かわまちづくり事業
- 一般廃棄物・プラスチックごみ減量化の推進
- オープンスペースの活用検討



恵まれた豊かな自然を次世代に引き継ぐため、
地球温暖化温暖化対策に取り組む

「健康で生き生きと暮らせるまち」 推進プロジェクト

町民の健康は持続可能な元気なまちづくりの原動力となるため、「こおり健康楽会」を中心に、町民一人一人がさまざまな分野において健康を意識した生活を送ることで、生涯にわたって心身ともに健康で元気に過ごせる「健康長寿のまち」を目指します。

- こおり健康楽会事業（民間事業者・関係機関との連携事業、運動教室、食育教室など）
- 新しい生活様式定着事業（感染症対策の徹底など）
- 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施
- 特定健康診査・特定保健指導事業
- 町内医療機関との連携事業
- 特定健診未受診者対策事業
- いきいき百歳体操の継続・発展
- 各種スポーツイベント、講演会などの開催
- スポーツ公園（仮称）整備の検討



健康的な生活を習慣化するため
小さいうちから食育を推進

「桑折っ子」育成 推進プロジェクト

質の高い教育や生涯学習の実現に向けた仕組み・基盤づくりを進め、人間としての基本を身に付け、目標に向かって高い志をもち、強みを発揮して、たくましく未来を切り拓いていく「桑折っ子」を育成することで、将来のまちづくりを担う人材の確保を目指します。

- 子ども・子育て支援事業計画の推進
- すくすく（育児相談）の日事業
- 子ども家庭総合支援拠点事業
- 認定こども園の開設に伴う既存保育所の運営移行
- 物的・人的・自然的環境を通しての遊びを中心とした総合的な指導の充実
- 英語教育、情報活用能力の強化
- 一人一人を大切に温かい教育



タブレットを活用したICT教育など質の高い教育を推進し、
将来のまちづくりを担う「桑折っ子」を育成

「心地いいまち」 推進プロジェクト

時代の潮流を的確に見極め、町の特性を守り、育みながら、その魅力を町内外へ積極的に発信し、交流人口・関係人口の創出や移住・定住の促進を図ることで、多くの人に「住み続けたい」「住みたい」と思ってもらえるような心地いいまちづくりを目指します。

- 若者の住まいに関する支援事業
- 広報紙・ICT・SNSなどを活用した情報発信事業
- がんばるふるさと桑折応援団の結成
- 「献上桃の郷」商標および町ロゴマークを活用した観光物産PR事業
- SNS・YouTubeなどの活用、オンライン広告などによる情報発信
- 農業体験を活用した関係人口の創出
- 歴史的風致維持向上計画の見直しおよび推進



献上桃の郷でBBQフェスを開催
多様なイベント（催し）を通じて交流人口拡大につなげる

将来の桑折町

「みんなが幸せを実感できる 元気なまち こおり」



計画の推進に向けて

～町民との共創と効率的な行財政運営～

- ◆ 町が目指す将来像や持続可能なまちづくりに向けた各種施策は、SDGsの理念や目標達成に通じるものであり、また、SDGsの推進が総合計画の着実な推進につながるという表裏一体の関係性があるため、町の施策とSDGsの17のゴール（目標）との関連性を明確に示すことで、世界基準に照らした視点を意識し、SDGsを原動力とした地方創生を推進していきます。
- ◆ 公共施設の管理運営について、指定管理者制度やアウトソーシングなどの民間活力の積極的な活用を図ります。また、施設の相互利用など近隣市町村との広域連携を推進しながら、限られた財源を有効に活用する健全で持続可能な財政運営に取り組んでいきます。
- ◆ 行政課題が複雑化・高度化している中であっても柔軟に事業を展開できるよう、職員育成を進めるとともに、組織機構改革を進めながら、各課の連携体制強化を図ります。
- ◆ 役場庁舎の優れた機能の有効活用や、AIなど新たな技術を導入した「行政のデジタル化」を推進し、効率的・効果的な事務執行を進めます。
- ◆ 施策の推進に当たっては、「町民ファースト」はもとより、議会や各種団体、企業、大学、地域が連携し、新たなまちの魅力や地域の価値を共に創りあげていくことが重要であるため、時宜を捉えた広報広聴や町内会、住民自治協議会など自主的に活動する団体への支援を図ります。
- ◆ モニター制度などにより町民の生の声を聞き、施策に反映させるなど、町民参画の共創のまちづくりを推進し、「町民に寄り添い、町民に信頼され、町民とともに歩む役場づくり」に取り組めます。

～ For the Bright Future ～

輝かしい未来に向かって



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

桑折町は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

〒969-1692

福島県伊達郡桑折町大字谷地字道下22番地7

電話 (024) 582-2111 (代表)

<https://www.town.koori.fukushima.jp>

編集／桑折町役場 総合政策課 政策推進係